

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会 電気通信システム委員会(第16回) 議事概要

1 開催日時及び場所

令和3年11月25日(木) 10:00~11:05

於、オンライン会議(Webex)

2 出席者(敬称略)

(1)委員等

主 査:丹 康雄

主査代理:前田 洋一

専門委員:浅井 光太郎、植松 友彦、岡村 治男、笠井 康子、劔吉 薫、後藤 良則、
高田 芽衣、永沼 美保、長谷川 一知、日高 邦彦、宮地 悟史、本永 和広、
森田 純恵、山條 朋子、横田 大輔

(2)オブザーバー

高谷 和宏(日本電信電話、SG5 副議長)、

三宅 優(KDDI 総合研究所、SG17 副議長)、

山岸 和久(日本電信電話、SG12 Q13 レポート)、

山田 徹(日本電気、SG20 副議長)

(3)総務省

山口 典史(通信規格課長)、重野 誉敬(通信規格課国際情報分析官)、

長屋 嘉明(通信規格課標準化推進官)、山口 大輔(通信規格課専門職)他

3 議題

(1)電気通信標準化総会(WTSA-20)について

(2)ITU-Tにおける検討状況概要

(3)その他

国際電気通信連合電気通信標準化局長への立候補について

4 配付資料

資料 16-1 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)準備状況について

資料 16-2 ITU-Tにおける検討状況概要

- 資料 16-3 国際電気通信連合電気通信標準化局長への立候補について
参考資料 1 ITU 部会 電気通信システム委員会 構成員一覧
参考資料 2 各地域からの WTSA-20 への提案状況

5 議事

(1)電気通信標準化総会(WTSA-20)について

資料 16-1 に基づき WTSA-20 の概要・今後の予定について事務局から説明を行った。主な質疑・意見は以下のとおり。

前田主査代理:

APT WTSA-20 準備会合の議長を務めているが、事務局からご報告いただいたとおりの状況。我が国にとって大きな課題はないと認識している。

(2) ITU-T における検討状況概要

資料 16-2 に基づき ITU-T における検討状況概要について事務局から説明を行い、SG 有識者である専門委員及びオブザーバーから補足が行われた。主な質疑・意見は以下のとおり。

丹主査:

ITU-T SG11 と SG13 で話題となっていた「New IP」に関する議論は沈静化している状況か。

後藤専門委員:

New IP については昨年議論があり、昨年 12 月の SG 会合で新規課題設立を行わない結論となった。少なくとも今会期は New IP の議論を行わないことで合意がされており、現在 New IP に関する提案は一切行われていない。ただし、従来からあるワークアイテムではあるが、New IP の周辺技術として「地上固定衛星融合」など、個別各論のワークアイテム等においては散発的に検討が続いている状況。インターネットプロトコルそのものを扱う検討は現在行われていない。

丹主査:

例えば、SG13 では触覚通信、デジタルツイン等の新しい議題があり、SG20 でも果たして ITU で議論すべきだろうかという議題が出ている。そのため、他機関との連携がより求められるのではないかと感じている。年々難しい問題が増えていく状況ではあるが、今後ともご対応をよろしく願いたい。

(3)その他

・国際電気通信連合電気通信標準化局長への立候補について

資料 16-3 に基づき国際電気通信連合電気通信標準化局長への立候補について事務局から説明を行った。主な質疑・意見は以下のとおり。

岡村専門委員：

国際電気通信連合電気通信標準化局長への立候補については是非頑張っていたきたい。世界人口の 46%程度がインターネットにつながっていないとも言われる中、途上国の僻地への情報通信網普及のための、日本提案の ITU-T 勧告が最近出版されている。情報格差の解消にも ITU-T は力を入れていくと発信をすることで、途上国の票が狙えるのではないか。

以上